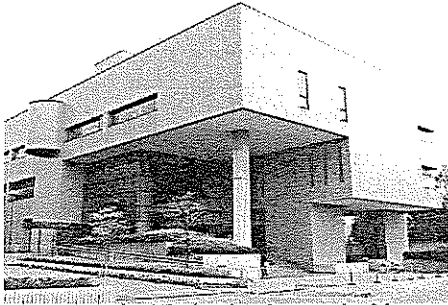
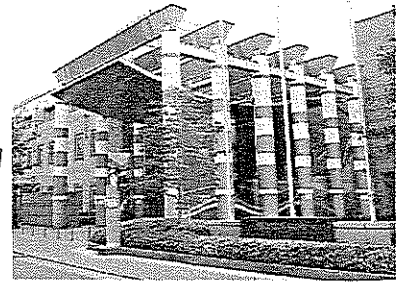




宇都宮市立図書館

としょかん



宇都宮市立東図書館

—宇 都 宮 市—

図書館とプライバシー

スタジオジブリのアニメ「耳をすませば」は、図書館で借りた本の貸し出し記録からロマンスが生まれるお話でした。図書館の貸出記録が大きな役割を果たす小説やドラマは他にもあります。中にはそれがもとで人が災難に見舞われる設定のものもあります。

人がなにを読んだか、何に興味を持っているかということは、それほど重要な「個人情報」なのです。現代の公共図書館ではこうした「個人情報」を人に知られない貸出システムを採用していますので、ドラマのようなことは現実にはあり得ません。

本がとりもつロマンスの可能性もなくなったかわりに、人の目を気にせず安心してご利用いただけるのが現代の公共図書館です。

借りたもののタイトル

以前借りた本をもう一度借りたいので、書名を教えてください」というご要望がときどきあります。結論から言いますと、すでにお返しいただいたものについての記録は残っていません。

図書館は市民の皆さんの「読書の自由」を守るため、誰が何を借りたかは個人のプライバシーとして秘密にする義務があります。

これは、戦前に読書の自由が保証されていなかったことへの反省をこめたもので、「図書館の自由に関する宣言」や「図書館員の倫理要綱」にも定められています。

秘密の厳守をより確実にするため、コンピュータシステムの上でも、本が返却された時点で貸出記録は消えてしまい、調べられないようになっていくのです。

現在何の本を借りているかについては調べることができますが、同様の趣旨から、ご本人以外にはお知らせしていません。大人であれ子どもであれ、人生の折々にさまざまな理由で、人に知られず何かについて知りたいと思われることがあるかもしれません。

公共図書館はそうした場合にも安心してご利用いただける施設であるように努めています。



今の公共図書館では、こういうことは決してありません。

予約や期限切れのものについてご連絡するときも…

ご予約いただいたものや、貸出期限の過ぎているものについて図書館からお電話を差し上げたときに、ご本人以外の方にタイトルをお伝えしないのも、図書館利用に関するプライバシーを守るための配慮です。

「どの本のことがわからない」とお叱りをうけることもあります。ご本人からお問い合わせいただければお知らせいたしますので、タイトルをお知りになりたいときは、ご本人からご連絡をお願いいたします。



図書館で貸出券を作成するときに皆さんからいただくデータも、もちろん個人情報として大切に取り扱います。

ご記入いただいた予約カード等、個人情報の含まれた用紙は、使用後は通常のごみと分けてプライバシーに関わる資料として厳重に処分しています。

お客様が貸出券や図書を落とされて、拾った方や警察などから連絡先の問い合わせがくることもあります。

そういう場合も、相手の方に連絡先をお知らせするのではなく、図書館の方からお客様にご連絡を差し上げるようにしています。

こういうことが起きないように、ご本人以外にはタイトルをお伝えしていません。
趣旨をご理解の上ご了承ください。

実践講座「図書館を使いこなそう」

10月27日～30日の全5回にわたって東図書館で行い、計27名の方が参加されました。

職員が交代で講師を務め、図書館内の見学や利用者用コンピュータでの検索などを行いました。

閉架の保存書庫や選書中の本の棚など、通常は公開していない場所もご案内し、図書館の新たな一面を知っていただけたと思います。

また、本の購入方法・図書の並び方・本のリサイクルについてなど、細かい内容についての質問にもお答えしました。

講座を終わって、利用者の方々の本や図書館に対する関心と期待の多いことを改めて感じました。

普段はなかなか皆様とゆっくりお話する機会がないので、受講者の方々にとっても職員にとっても大変有意義な講座になったと思います。

「子どもの本の講座」

東図書館では、去る10月13日と11月21日に、子どもの本の講座「読み聞かせ上手になろう」を開催しました。

第1回目は、栃木子どもの本連絡会会長宮田直美さんのお話で、家庭での読み聞かせについて。就学前のお子さんをお持ちのお母さん方が多く集まり、たいへん熱心に受講されました。「年の違う3人の子どもに読み聞かせるには」「せりふをどう読んだらいいか」など質問もたくさん出ました（出席者49名）

第2回目は、宇都宮子どもの本連絡会・ひまわり文庫主宰の佐藤孝子さんに、幼児教育やボランティアで読み聞かせをする方々を対象に、手作りのペープサートや人形を使って楽しく、集団への読み聞かせについてお話いただきました（出席者36名）。

毎年このような講座を開催していますが、読み聞かせに対する関心はどんどん高くなっています。

万葉 恋の秀歌 — その愛、その悲劇 —

10月24・31日、11月14・21日の4回にわたって、日本古典文学講座を開催しました。

講師には、昨年に引き続き東京経済大学教授の石丸晶子先生をお迎えして、日本最古の和歌集である「万葉集」をテーマにお話をうかがいました。

毎年好評を頂いている講座だけに、定員60名で受講者を募集したところ、受付開始からわずか3時間で120名の申込みがありました。

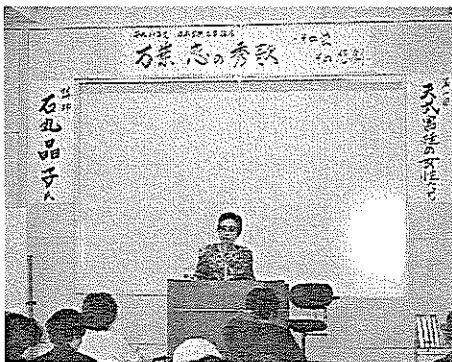
講演の要旨を簡単にご紹介します。

第1回 天武宮廷の女性たち

倭の国から日本へと国名を変え、日常生活習慣に至るまで改革を進めた、天武天皇の男性的なリーダーシップと、その時代に輝いた持統天皇や鏡女王の歌を取り上げながら飛鳥の魅力を熱く語りました。

第2回 百花繚乱の皇子女たち・1

天皇と多くの女性たちの間に生まれた皇子・皇女の中から、十市・但馬皇女、高市・穂積皇子にスポットを当てて、複雑な人間関係を解きながらそれぞれの歌を鑑賞しました。



講師 石丸晶子先生

第3回 百花繚乱の皇子女たち・2

この回では、皇子女たちの中から大伯・山辺皇女、草壁・大津皇子を取り上げて、特に大津皇子がすべての面でいかに素晴らしい若者であったかを話され、併せて藤原京・平城京の立地と風景にも言及しました。

第4回 万葉の夕暮れ

— たそがれを知った人々 —

最終回では、全盛期を過ぎたこの時代の翳りの中で、歌の雰囲気も変化していることに着目しながら、大伴氏と坂上郎女を中心にした内容となりました。

宇都宮市を第三のふるさとと云ってくださる石丸先生の熱心なお話ぶりは受講者に毎回好評で、先生手書きの充実した資料に書き込んだり、一同で唱和したり、毎回ほとんど欠席者もなく好評のうちに終了しました。

終了後のアンケートでも、先生のわかりやすい説明に、万葉集と飛鳥への思いが募ったという声が多く寄せられました。

● 12月・1月催物案内 ●

東図書館公開講座

マンガという表現形式

夏目漱石の孫「マンガ」を語る

- ◆日時 12月18日(土) ◆会場 東図書館
- ◆講師 夏目房之介氏 ◆申込 12月2日から

お話し会スペシャル

絵本の読み聞かせや紙芝居、すばなしなどを行います。

- ◆日時 12月18日(土) 2時～3時
- ◆会場 東図書館 1階 おはなし室
- ◆参加方法 当日、直接会場へ

冬休みお楽しみ会

- ◆日時 12月25日(土) ◆会場 市立図書館
- ◆内容 午 前 エプロンシアター、絵巻、人形劇など
午後 よみきかせ、人形お話、大型紙芝居、
パネルシアターなど
- ◆定員 各回とも先着200名
- ◆申込 当日、直接会場へ

冬休み

おはなし玉手箱スペシャル

市立図書館では … 1月8日(土)

東図書館では … 1月22日(土)

おはなし…「さるかに合戦」や「チム・ラビットとはさみ」など、日本や世界のおはなしが楽しめます。小学生から大人の方まで、「すばなし」の世界をぜひ一度のぞいてみて下さい。

- ◆申込 当日、直接会場へ

小学生のための読書案内講座

きょうからあなたも おもちゃ名人!?

- ◆日時 1月30日(日)
- ◆会場 市立図書館
- ◆内容 おもちゃづくり、本のお話
- ◆講師 杉山亮氏(作家・手づくりおもちゃ教室主宰)
- ◆対象 小学校5～6年生とその親(どちらだけでも可)
- ◆申込み 1月6日(木)から

● 10月・11月の動き ●

《第103回 視覚障害者鑑賞用テープ作成落語会》

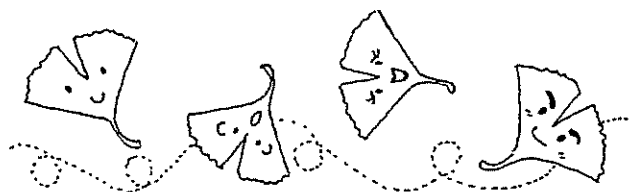
11月20日、市立図書館において、第103回目落語会が、のんき亭喜楽一門会の協力により、「たらちね」「ん廻し」「たいこ腹」ほかのお題で行われました。

《子どもの本のたのしみ～そとそとのたのしみ～》

11月28日、東図書館において、松井るり子氏（児童文学研究家）をお迎えして、絵本や子育てのことなどについてお話をいただきました。

《図書館アンケート》

9月17日～10月17日の1カ月間、市立・東両館において、図書館資料についてのアンケートを行い、両館合わせて約2,500名の方よりご回答頂きました。



利用案内

○開館時間

1 火曜日～金曜日

午前9時30分～午後7時（児童図書室は午後5時まで）

2 土曜日・日曜日・5月5日・11月3日

午前9時30分～午後5時

○休館日

1 月曜日

2 国民の祝日・休日（土・日・5月5日・11月3日）

日は開館）ただし、月曜日に当たるときは翌日

3 年末年始（12月29日～1月3日）

4 図書整理日（毎月第3木曜日、ただし、祝日にあたるときは翌日）

5 特別整理期間（6月頃10日以内）

● 図書館なんでもQ & A ●

【Q】マンガの予約を受けないのはなぜですか。

【A】7月に貸し出しを開始して以来、所蔵マンガの95パーセント以上が貸し出しの状態が続きご不便をおかけしています。特に長編作品の続きを読めないという苦情が寄せられ、図書館としても対策に苦慮しているところです。

長編作品については、予約制度なしで全巻を手にするのが難しい反面、予約を受けると予約数が膨大な数になるばかりか、必要な巻がそろわないためにお貸しすることができず、カウンター内に眠ったまま誰にも利用されない状況が続いてしまうことが予測されます。現在の対策としては同じ本の複本を購入し、少しでも棚に残るマンガの数を増やすよう努力しているところです。今しばらく状況を見ながら選書や貸出方法について検討していきたいと思いますので、皆様のご理解をお願いいたします。

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	⑯	17	18
19	⑳	21	22	㉓	24	25
26	㉗	28	㉙	㊳	㊵	

12年1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						①
②	③	4	5	6	7	8
9	⑩	⑪	12	13	14	15
16	⑰	18	19	⑳	21	22
23	㉔	25	26	27	28	29
30	㊱					

○印：休館日（1月10日成人の日が月曜日の為、11日も休館をいただきます。）

としょかん 第109号

平成11年12月1日

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320-0845 ☎636-0231
宇都宮市立東図書館 今泉町2137番地 〒321-0962 ☎638-5614